(別紙)

成果の説明書

(氏名) 若林　隆久	(学部) 地域政策学部

１　重要事項

（１）研究

①　研究成果

2016 年度（平成 28 年度）の研究成果は下記の通りである。

【論文など】

1. 若林隆久 (2016)「PBL による大学生に対するキャリア教育と地域貢献：商品企画プロジェクトの事例から」『地域政策研究』第 19 巻第 1 号, 79-89.
2. 若林隆久 (2016)「読書会による地域コミュニティの再生：読書会「本のカフェ」の事例から」『産業研究』第 51 巻第 1 号, 56-61.
3. 若林隆久 (2016)「社会科学の研究フィールドとしての仮想世界：オンラインゲームのユーザー・コミュニティ」『地域政策研究』第 19 巻第 2 号, 65-74.
4. 若林隆久 (2016)「ファッション・アパレル産業におけるメーカー・サプライヤー関係：能力の発見・育成とセレクション」『組織学会大会論文集』第 5 巻第 2 号, 49-56.
5. 若林隆久・田苗真也 (2017)「地域における教育力の連携：株式会社スタディ・レボリューションの取り組み」『地域政策研究』第 19 巻第 3 号, 153-160.
6. 2016 年度 経営アカデミー 組織変革とリーダーシップコース C グループ (2017)「内省経験から考える次世代リーダー育成 : 吾日に吾が身を三省す」2016 年度 経営アカデミー 組織変革とリーダーシップコース グループ研究報告書.

【口頭発表など】

7. 若林隆久 (2016)「ファッション・アパレル産業におけるメーカー・サプライヤー関係 : 能力の発見・育成とセレクション」2017 年度組織学会年次大会, 上智大学. (2016 年 10 月 9 日)
8. 若林隆久 (2017)「ネットワーク論から見た組織と組織変革」一般社団法人経営研究所「人材開発と組織」研究会 1 月例会, 経営研究所. (2017 年 1 月 24 日)

②　研究費

(A) 科学研究費助成事業・若手研究 B の課題番号 16K17173「個人の持つネットワークがキャリアに与える影響の定量的・定性的研究」(2016 年度～2017 年度、研究代表者：若林隆久)が採択された(http://kaken.nii.ac.jp/d/p/26885061.ja.html)【研究成果 1-3, 5-6, 8】。

(B) 平成 28 年度高崎経済大学競争的研究費・特別研究助成金（個人）に「ゲーム産業を通じたコンテンツ産業・クリエイティブ産業における国際展開およびローカライズの成功要因の研究」が採択された【研究成果 2-4, 7】。

(C) 平成 28 年度地域科学研究所研究プロジェクト「空家特別措置法施行後の空き家対策に関する総合的研究」が採択された（研究分担者)。

③「組織におけるキャリアとワークスタイル」研究会の開催

高崎経済大学地域政策学会「学生向け学習・研究支援プログラム助成」の助成も受け、研究教育活動の一環として「組織におけるキャリアとワークスタイル」研究会を三回開催した。

（２）教育

①　講義

前期には「初年次ゼミ」と「経営学」、後期には「経営分析／財務諸表分析」と「産業立地論」の講義を担当した。また、「アーツマネジメント論」の講義でゲストスピーカーとして、「アーツマネジメント再考」、「アートとマーケティング」、「製品コンセプト」といった講義を行った。さらに、「地域政策を考える」の担当回で講義を行った。

②　演習

演習Ⅰ・Ⅱでは、輪読・ディスカッションの実施をするとともに、課外活動としてインナー大会への参加や三扇祭への模擬店の出店を行った。その活動の過程で第 4 回地域政策学部プレゼンテーション大会に参加した。また、9 月 19・20 日には合宿を実施した。

来年度の演習Ⅰ生を対象として後期に 9 回のプレゼミを実施し、プレゼンテーション、輪読・ディスカッション、などを行った。

（３）社会における活動

①　経営研究所「人材開発と組織」研究会　コーディネータ

2017 年 1 月より一般社団法人経営研究所の「人材開発と組織」研究会において、コーディネータを務めた。また同研究会・1 月例会において「ネットワーク論から見た組織と組織変革」というタイトルで提言を行った【研究成果 8】。

②　日本生産性本部　経営アカデミー　講師

日本生産性本部・経営アカデミーの「組織変革とリーダーシップコース」において、「ネットワーク組織論」の講義を行い、グループ指導講師を務めた【研究成果 6】。

③　岡田商事社内大学講師

2016 年度岡田商事社内大学において、10 月 14 日に「営業のマネジメント」の講義を担当し、10 月 14 日と 12 月 9 日にはケース補助を担当した。

④　ラジオ高崎　ラジオゼミナールへの出演

大学の地域貢献事業の一環であるラジオ高崎のラジオゼミナールに出演し、「つながりを作る」（2016 年 12 月 3 日土曜日 9 時 15 分～、再放送：2016 年 12 月 6 日火曜日 19 時～）と「つながりからの学習・成長」（2016 年 12 月 10 日土曜日 9 時 15 分～、再放送：2016 年 12 月 13 日火曜日 19 時～）という 2 回を担当した。

２　その他の事項

- 日本デジタルゲーム学会のオンラインゲーム SIG（Special Interest Group）に所属し、オンラインゲームに関する調査研究を実施した【研究成果 3】。
- キャリア支援センター運営委員や地域政策学会理事などの学内業務を行った。
- 高崎経済大学経済学会平成 28 年度第 1 回研究会のコメンテーターを務めた。

３　次年度以降の計画・抱負

研究面では、来年度も継続予定である科学研究費補助金・若手研究 B「個人の持つネットワークがキャリアに与える影響の定量的・定性的研究」を中心に研究活動およびアウトリーチ活動を行い、積極的に研究成果を発信していくことを目指す。また、以前から調査研究を継続しているキャリア教育やクリエイティブ産業（主にオンラインゲーム産業とファッション・アパレル産業）について、研究成果をまとめていく予定である。

教育面では、本年度に実施した各講義の内容を基に改善を加えていくことで、より質の高い講義内容を目指す。特に、演習においては、単に教科書の輪読を行うだけではなく、ゼミ生による自主的なゼミの運営、工場見学や実務家インタビューといったフィールドワーク、課題解決型学習など、多様な活動を行っていく予定である。